

エコアクション21 環境活動レポート



平成30(2018)年度

【活動期間】

平成30年04月～平成31年03月

発行日：平成31年4月20日



大分デバイステクノロジー株式会社

目次

【 1 】 環境方針	P3
【 2 】 組織の概要及び対象範囲	P4
【 3 】 実施体制 & 役割と責任	P5
【 4 】 環境目標	P6
【 5 】 環境活動計画	P7
【 6 】 環境目標と実績	P8
【 7 】 環境活動計画の取組み内容と今後の方針	P9～11
【 8 】 環境関連法規等の遵守状況	P12
【 9 】 環境活動パフォーマンス	P13～14
【 10 】 代表者による全体評価と見直し結果	P15

【1】環境方針

環境方針

〈基本理念〉

大分デバイステクノロジー株式会社は、「かけがえない地球環境を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります。低炭素社会、循環型社会、自然共生社会を目指した環境活動を認識し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境負荷低減に努力します。

〈行動指針〉

大分デバイステクノロジー株式会社は、“ななせ川”の清流に近隣する恵まれた自然環境のもと、『自然の豊かさ、清らかさを誇る、ふるさと九州・大分・野津原で、世界を動かすテクノロジーを磨き続けます』との認識に立って、環境保全への取り組みを工場経営の最重要課題の一つとして位置づけます。調達から廃棄に至るまで環境影響を低減するために、次の方針に基づき環境経営活動を推進し地球環境との調和を目指します。

1. 当社の事業活動に係わる環境影響のうち、以下の項目に取り組みます。

- (1) 二酸化炭素排出量削減
- (2) 廃棄物排出量削減
- (3) 水使用量削減
- (4) グリーン製品の購入推進
- (5) 製品・サービスに関する環境配慮

2. 環境関連法規制や当社が約束したことを遵守します。

3. この環境方針は、全社員に周知するとともに社内外に公表します。

上記の方針達成のために、環境目標・活動計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

制定日：2013年08月01日

大分デバイステクノロジー株式会社

代表取締役 安部 征吾

エコアクション21取組みの対象範囲

■組織の概要

1) 名称及び代表者

会社名：大分デバイステクノロジー株式会社

代表者：代表取締役 安部 征吾

2) 所在地

本社工場(第二工場)：大分県大分市大字野津原1660番地

第一工場：大分県大分市大字野津原1604番地

3) 環境管理責任者及び担当者(事務局) 連絡先：097-588-1153

環境管理責任者 業務統括 取締役 荒木 淳二

事務局 管理グループ グループ長 宮崎 一也

4) 事業内容

半導体アセンブリ事業、半導体試作・開発サポート事業、
省エネルギー推進工事業、縫製事業（自動車用シートの縫製）

5) 事業規模

	全社	第二工場	第一工場
売上高(百万円)	1,041	/	/
従業員(名)	140	94	40
延べ床面積(m ²)	/	2,841	940

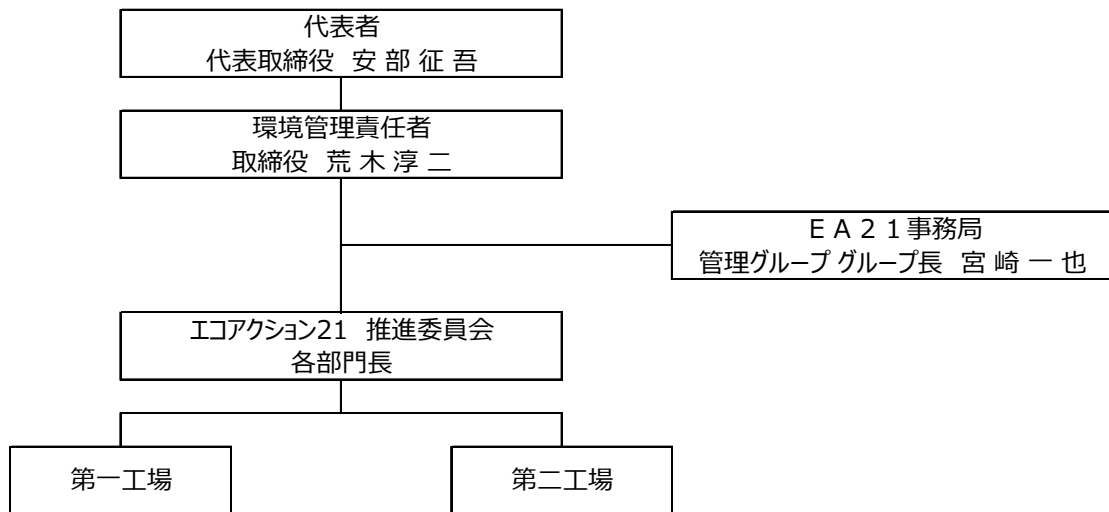
【注】従業員＝常勤役員、社員、パートなどすべての役職員を含む

売上高は平成29年度、従業員数、延べ床面積は平成31年3月末現在。

6) 会計年度 【期首】8月1日 ～ 【期末】7月31日

7) 環境年度 4月1日 ～ 3月31日

E A 21実施体制



担 当	役割 ・ 権限 ・ 責任
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任者 ・環境経営に必要な経営資源（人・物・資金）を準備する ・環境管理責任者の任命 ・環境方針を定める ・環境目標及び環境活動計画、実施体制を承認する ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、運用、管理に関する責任者 ・環境経営システムの運用、管理状況を代表者に報告する ・エコアクション21推進委員会の責任者 ・環境関連法規等のとりまとめ表の承認、遵守状況チェック結果の承認 ・環境目標、環境活動計画、実施体制の確認 ・環境上の緊急事態の想定及び対応策の承認 ・問題点の是正及び予防処理の承認 ・環境活動レポートの確認
事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、エコアクション21推進委員会の事務局 ・環境関連文書、記録の管理 ・環境活動に関する実績のとりまとめ ・外部環境コミュニケーションに関する窓口 ・環境活動レポートの作成
エコアクション21 推進委員会 (部門長)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境目標、環境活動計画の伝達 ・各部門の実施状況、目標達成状況、問題点などの報告 ・環境活動に関する意見交換 ・自部門における環境活動の実施 ・自部門における環境活動の実施、目標達成状況を委員会に報告する ・自部門に必要な手順書などの作成、管理
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針、環境目標などの理解と自らの役割を自覚する ・自主的、積極的に環境活動に参加する

【4】環境目標

【各年度の対象期間は、04月01日～翌年03月31日】

環境方針番号	選択課題		平成28年度 (2016年)	平成29年度 (2017年)	平成30年度 (2018年)	平成31年度 (2019年)	
			実績値 基準年度	目標値 △% (基準年度比)			
1	二酸化炭素排出量削減 (Kg-CO2)		2,252,306	2,229,783 △1.0%	2,207,260 △2.0%	2,184,737 △3.0%	
		電力消費量削減 (kWh)	4,332,894	4,289,565 △1.0%	4,246,236 △2.0%	4,202,907 △3.0%	
		化石燃料 消費量 削減 (L)	A重油	8,000	7,920 △1.0%	7,840 △2.0%	7,760 △3.0%
			ガソリン	4,565	4,519 △1.0%	4,474 △2.0%	4,428 △3.0%
			軽油	5,656	5,599 △1.0%	5,543 △2.0%	5,486 △3.0%
2	廃棄物 排出量 削減 (Kg)	産業廃棄物 排出量削減	28,054	27,773 △1.0%	27,493 △2.0%	27,212 △3.0%	
		一般廃棄物 排出量削減	416	412 △1.0%	408 △2.0%	404 △3.0%	
3	水使用量削減 (m ³)		4,214	4,172 △1.0%	4,130 △2.0%	4,088 △3.0%	
4	グリーン購入の推進 (%)		24.24%	24.48% 1.0%	24.72% 2.0%	24.97% 3.0%	
5	製品・サービスに関する 環境配慮 (件)		33件 (固定)	住宅太陽光発電設備 定期点検			

※電力の二酸化炭素排出量算出は、九州電力の平成27年度CO2排出係数0.509kg-CO2/Kwhに拠る。

【5】環境活動計画

環境方針番号	目標課題		具体的な行動(活動)		対象部門
1	二酸化炭素排出量削減	電力消費量削減	1	デマンド監視と節電対策	全部門
			2	工場内照明の節電	
			3	空調の適正温度管理（夏季28℃ / 冬季20℃）	
			4	空調機のフィルターの定期的清掃	
			5	休憩時間の消灯	
			6	第一工場新電力おおいた契約電力変更（1月）	
			7	第一工場受電設備（キュービクル）更新（12月）	
	化石燃料消費量削減	1	A重油の使用量把握と適切管理		
		2	ガソリンの使用量把握と適切管理		
		3	軽油の使用量把握と適切管理		
		4	エコドライブの周知		
2	産業廃棄物排出量削減	1	分別基準を基に分別指導（有価物への転換）	全部門	
		2	工場内の分別廃棄を徹底し、定量把握を継続		
	一般廃棄物排出量削減	1	分別基準を基に分別指導		
		2	工場内の分別廃棄を徹底し、定量把握を継続		
		3	書類のペーパーレス化		
3	水使用料削減	1	使用量把握と適切管理	全部門	
		2	水回りに節水ラベルの貼付		
		3	トイレの音消し設置による節水推進運動		
		4	配管・蛇口などの目視による漏水定期点検		
4	グリーン購入の推進	1	グリーン商品の確認・購入	全部門	
		2	グリーン商品購入比率のフィードバック		
5	製品・サービスに関する環境配慮	1	住宅太陽光発電設備 定期点検	全部門	

【6】環境目標と実績

【各年度の対象期間は、04月01日～翌年03月31日】

環境方針番号	選択課題	平成28年度 (2016年)	平成30年度 (2018年)			
		実績値 基準年度	目標値 △% (基準年度比)	実績値 % (目標達成率)	評価	
1	二酸化炭素排出量削減 (Kg-CO2)	2,252,306	2,207,260 △2.0%	2,218,970 99.5%	○	
	電力消費量削減 (kWh)	4,332,894	4,246,236 △2.0%	4,276,116 99.3%	○	
	化石燃料 消費量削減 (L)	A重油	8,000	7,840 △2.0%	7,100 110.4%	◎
		ガソリン	4,565	4,474 △2.0%	3,704 120.8%	◎
	軽油	5,656	5,543 △2.0%	5,656 98.0%	△	
2	廃棄物 排出量 削減 (Kg)	産業廃棄物 排出量削減	28,054	27,493 △2.0%	23,020 119.4%	◎
		一般廃棄物 排出量削減	416	408 △2.0%	410 99.5%	○
3	水使用量削減 (m ³)	4,214	4,130 △2.0%	2,999 137.7%	◎	
4	グリーン購入の推進 (%)	24.27%	24.72% 2.0%	24.67% 100.2%	○	
5	製品・サービスに関する 環境配慮 (件)	33件 (固定)	住宅太陽光 発電設備 定期点検	33件	○	

※電力の二酸化炭素排出量産出は、九州電力の平成27年度CO2排出係数0.509Kg-CO2/Kwhに拠る。

【 7 】 環境活動計画の取組内容と今後の方針①

環境方針番号	目標課題		具体的な行動(活動)		取組結果 今後の方針	対象部門
1	CO2 排出量 削減	電力 消費量削減	1	デマンド監視と節電対策	【取組結果】 ・デマンド監視装置を継続活用。 ・省エネ機器を更新し、省エネ効率を改善(変圧器) ・新電力会社の契約電力変更 ・工場内非常灯25か所をLED照明に更新し、電力消費量改善 【今後の方針】 ・今後も電力消費量の削減を継続していく。	全 部 門
			2	工場内照明の節電		
			3	空調の適正温度管理 (夏季28℃/冬季20℃)		
			4	空調機のフィルターの定期的清掃		
			5	休憩時間の消灯		
			6	第一工場新電力へ契約電力変更		
			7	第一工場受電設備(変圧器)更新		
	化石燃料 消費量削減	1	A重油の使用量把握と適切な管理			
		2	ガソリンの使用量把握と適切な管理			
		3	軽油の使用量把握と適切な管理			
		4	エコドライブの周知			

取組1-1：受電設備（変圧器）更新し省エネ効率を改善（空調機：第一工場）



更新前



更新後

平成30年12月30日、第一工場 受電設備（変圧器）を更新
更新前に比べ、負荷率75%で消費電力40%削減

平成30年度省エネルギー投資促進に向けた支援補助金 対象設備
(エネルギー使用合理化等事業者支援事業)

【7】環境活動計画の取組内容と今後の方針②

環境方針番号	目標課題		具体的な行動(活動)		取組結果 今後の方針	対象部門
2	廃棄物 排出量 削減	産業 廃棄物	1	分別基準を基に分別指導	【取組結果】 ・前年度に引き続き分別廃棄を行った。 ・会議資料は、PDF(電子ビューアー)及び両面印刷を行った。 【今後の方針】 ・今後も廃棄物の定量把握を行い、分別徹底を行う。	全部門
			2	工場内の分別廃棄を徹底し、定量把握を継続		
		一般 廃棄物	1	分別基準を基に分別指導		
			2	工場内の分別廃棄を徹底し、定量把握を継続		
			3	書類のペーパーレス化		

取組2：書類のペーパーレス化を継続推進

環境方針番号	目標課題		具体的な行動(活動)		取組結果 今後の方針	対象部門
3	水使用料削減		1	使用量把握と適切管理	【取組結果】 ・音消し装置を設置し、節水活動を推進 ・節水ラベル表示 【今後の方針】 ・節水量を確認	全部門
			2	水回りに節水ラベルの貼付		
			3	配管・蛇口などの目視による漏水定期点検		

取組3：節水活動の啓蒙（節水の呼び掛け）

環境方針番号	目標課題		具体的な行動(活動)		取組結果 今後の方針	対象部門
4	グリーン購入の推進		1	グリーン商品の確認・購入	【取組結果】 ・3社購入での活動を行う 【今後の方針】 ・更なる推進の為、周知活動を行う	全部門
			2	グリーン商品購入比率のフィードバック		

取組4：環境対応マークの付いた文房具の購入を継続推進

【 7 】 環境活動計画の取組内容と今後の方針③

環境方針番号	目標課題	具体的な行動(活動)	取組結果 今後の方針	対象部門
5	製品・サービスに関する環境配慮	住宅太陽光発電設備 定期点検 (33件)	【取組結果】 ・住宅太陽光発電設備の定期点検 (パネルの清掃)を実施。	全部門

取組5：住宅太陽光発電設備 定期点検



太陽光パネルの点検

住宅太陽光発電設備の定期点検を実施。

定期点検では、太陽光パネルを点検/清掃することにより、発電効率を向上させる。

【 8 】 環境関連法規等の遵守状況

(1) 遵守すべき関連法規

適用される主な環境関連法規等は次のとおり。

法律等の名称	当社の対応自主基準	管理責任者 責任部門	評価時期	証拠となる記録等	適否 要○印
廃棄物処理法 (廃棄物の処理 及び 清掃に関する法律)	基準に適合した措置	管理G	日常点検	現物監視	○適・否 (3/20)
	委託基準の遵守 (期限内の許可証添付)	管理G	毎年8月	委託契約書 許可証写し	○適・否 (3/20)
	排出部門が記載 ファイルに保管	排出部門	毎年8月	産業廃棄物管理票 (マニフェスト)	○適・否 (3/20)
	毎月 1 回チェック	管理G	1 回/月	産業廃棄物管理票 未回収報告書	○適・否 (3/20)
	毎年 4月1日～6月30日 の間に提出	管理G	1 回/年	交付等 状況報告書	○適・否 (3/20)
浄化槽法	規制遵守	管理G	1 回/年	届出控	○適・否 (3/20)
	専門業者に委託	管理G	1 回/年	点検・検査記録	
騒音規制法	規制遵守	管理G	1 回/年	届出控	○適・否 (3/20)
消防法 (広域行政組合 火災予防条例)	規制遵守	管理G	1 回/年	届出控	○適・否 (3/20)
電気事業法	規制遵守 専門業者に委託し、 法定自主検査実施	管理G	1 回/年	自主点検記録	○適・否 (3/20)
フロン排出抑制法	エアコン室外機の 自主定期点検	管理G	4回/年	自主点検記録	○適・否 (3/20)

(2) 環境関連法規制の遵守状況

チェックリストにより運用期間の法令違反なし。

また過去3年間、関連機関からの指導等はなかった。

【 9 】 環境活動パフォーマンス

(9-1) 異常対応訓練 (総合避難訓練)



「 避難誘導後の点呼確認 」



「 消火栓ホースでの消火方法説明 」

12月13日(木)
第一工場・第二工場を対象とした
総合避難訓練を実施80名参加。

(9-2) 地域貢献 (社内での取組)



「 社屋付近の清掃活動 」



「 従業員とご家族の参加 」

4月28日(土)
恒例の従業員と家族での工場周辺
清掃活動。



「献血 日本赤十字社 大分県赤十字血液センター」



11月30日(金)
年 2 回の社内での献血運動
献血者24名

(9-3) 地域貢献 (社外での取組)



「 神社の清掃と飾りつけ 」



8月24日(金)
地元の祭り(清正公祭り) に向けて、神
社の清掃と飾りつけに参加しました。

【 9 】 環境活動パフォーマンス

(9-4) (社外での取組)



「働き方改革」



10月09日(火)

おおいた働き方改革推進優良企業表彰

「魅力ある職場づくり」を目指して着実に改善を進めていく。



「育児改革」



12月21日(金)

大分市子育て支援表彰

子育て支援に取り組んでいる中小企業の一社として大分市より表彰受賞。

(9-5)製品・サービスに関する環境配慮

(インターネプコンジャパン「エレクトロニクス製造・実装技術展」出展)



1月16日(水)~18日(金)

第48回インターネプコンジャパンへ出展(6年連続)

パワーデバイスを主軸としながら、新たにパワーサイクル試験の受託・販売についてアピール。



「出展風景」

【10】 代表者による全体評価と見直し結果

	項目	見直しの有無	評価コメント
1	環境方針の見直し	無	現時点での方針の見直しは不要とする。
2	環境目標	無	現時点で活動目標は追加しない。
3	環境活動計画	無	活動目標については中期経営計画と実績を踏まえて検討する。
4	環境に関する組織	無	現時点での活動（EA推進委員会）に問題は無いと判断する。
5	全体評価コメント	-	環境方針の趣旨を理解し、社会的責任の中で貢献できる活動を行い、環境目標の達成ができた。

当社は2013年12月よりE A 21に取り組み、2014年7月に認証取得、現在まで引き続き活動し6度目の評価となりました、CO2排出量削減と、廃棄物排出量削減、水使用量削減、グリーン購入の推進で目標達成できました。

大分デバイステクノロジー株式会社も環境活動を行う中であまり結果が出ない部分や改善の余地が少なくなってきた、E A 2 1で根付いた習慣をしっかりと継続していき、問題を問題ととらえP D C Aを回していきましょう。

「かけがえのない地球環境を、健全な状態で次世代に引き継いでいくことは、現存する人間の基本的責務」との認識に立って、豊かな価値の創造と地球との共生を図ります、全員で取り組む「環境経営」E A 2 1で企業力Upを目指します。